



平成30年6月1日発行

第 106 号

事務局 〒169-0051 東京都新宿区
西早稲田2-18-23スカイエスタ507
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
<http://www.seishineisei.gr.jp/>

〈目 次〉

日本精神衛生学会理事長就任にあたって……………1

日本精神衛生学会第24回大会長ご挨拶……………2

平成30年新理事・常任理事一覧……………3



日本精神衛生学会理事長就任にあたって

影山 隆之(大分県立看護科学大学)

昨年理事会で突然、理事長としてご指名を受け、いささか当惑したというのが正直なところですが、とはいえ、若い頃から精神衛生学会に参加してきて、この学会に育てていただいたような自分ですので、学会の経緯と状況を考えれば、土居健郎先生の「君はもっとよく考えて、この学会に貢献すべきじゃないのかな」というお声が聞こえてきそうな気がして、お引き受けしました。

本学会の使命については、学会会則と学会誌投稿規定で少し書きぶりが異なっており、後者によれば本学会誌は、「こころの健康」あるいは「健康な生き方」を追求する学際的研究の発展を志向しています。これは、健康日本21における心の健康の定義や、精神科医療・精神看護・精神保健福祉領域で近年重視している国際生活機能分類の考え方にも、呼応するものだと考えます。衛生という日本語は「生」を「衛^{まも}る」の意で、「生」は英語ならば life であり、「生命」「生活」「人生」いずれの訳も当てはまります。心の面から「生活」や「人生」を考え、これを「衛^{まも}る」活動のあり方、そのための方法や条件を論じ、最終的には社会に働きかけること(そのための材料を明らかにすること)が、本学会の使命でしょう。ただし、心の健康に関する学会は他にもたくさんあるので、「それぞれの専門学会の守備範囲には必ず隙間があるし、新しく登場した課題を真正面から扱える学会が存在しないこともある」ことを考え、それらを受け止めること、学際的な交流の場を創り出すこと、学際的な力を総合して災害時の MCRT 活動といった形にすることが、特に求められていると思います。

ただし、学会の財務基盤はまだ体力不足ですし、新会員獲得は必ずしも進んでいません。本学会の強みを発揮できるニッチな領域を含め、幅広く若手新会員の加入を目指すことが必要です。大会、学会誌、ワークショップなどが、いろいろな会員の固有の実践・研究を互いに発表したり共有したりするプラットフォームとして、用いられるようにしたいものです。これまでの大会や学会誌では、シンポジストや特集記事の筆者として非会員にご登場いただくことがよくありましたが、本来はできるだけ、学会員の発表で構成することが学会本来の姿だと言えます。「精神衛生学会はマイ学会の一つ、と感じる会員が増える」状況にしたいものです。また、会則には実情に合わない部分も見られるので、理事選出方法など重要な箇所の改定にも、任期中に手をつけたいと思います。

このように、まだまとまりのないレベルでしか語れませんが、会員確保と財務状況の安定化を基礎として、本学会らしい展開を増やしてゆきたいと思います。皆さまのお力を借りながら、少しずつ運営と改革を進めたいので、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

第 24 回大会長ご挨拶

菅野 恵(和光大学／日本精神衛生学会常任理事)

2019 年 2 月 15 日(金)～17 日(日)に開催される第 34 回大会の大会長を仰せつかりました和光大学の菅野恵です。心理学の立場から児童福祉領域と学校領域にて実践と研究を行ってきたことから、大会テーマを「子どもから学ぶメンタルヘルス」としました。このテーマは、実は恩師である元永拓郎先生(本学会副理事長)からアイデアをいただきまして、この大会を機に宿題を与えられたように思います。

子どものセラピーをしていると、言葉になりにくい心の傷つきは、さまざまな形で表現されます。親から不適切な養育を受けてきたある子は、集団場面が苦手な気がつくといなくなってしまう。ケアワーカーや教師は「落ち着きのない子」「ADHD ではないか」と困惑しています。セラピーでは、言葉を投げかけても無反応なセッションが続き、セラピストである私は焦り、無力感を抱き続けます。しかし、絵を描いてもらおうと、泣いている子の姿と分身であるオバケの姿を表現し、その絵について教わることから対話がはじまります。つまり、ようやく表現した子どもの心的内界から学ぶことを通して、次の新たな関係性へ移行するわけです。この大会では、社会的弱者になりがちな子どもの視点に立ち、さまざまな領域に従事する方たちにとって日頃の実践や研究のヒントをつかんでいただけるような内容にしていこうと目指します。

大会会場ですが、大会の打診を受けた当時の理事長であった早川東作先生から迅速に会場確保に努めるよう助言を受けた甲斐がありまして、「和光大学ポプリホール鶴川」を押さえることができました。新宿から約 40 分、小田急線「鶴川駅」徒歩 3 分のところにあります。この会場は和光大学とネーミングライツ契約を結んでいる東京都町田市の公共施設です。学会員の方だけでなく、地域の方にも参加していただけるような大会になるよう努めたいと思います。どうかお誘いあわせいただき、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

<大会概要>

日本精神衛生学会第34回大会

子どもから学ぶメンタルヘルス



2019年2月15日(金)～17日(日)

■会場:和光大学ポプリホール鶴川

(東京都町田市／小田急線「鶴川駅」徒歩3分)

2 月 15 日(金)は一般公開シンポジウムを予定し、本大会副大会長であり自殺予防の研究者、末木新氏にご登壇いただきます。16 日(土)～17 日(日)は、乳幼児の精神保健をご専門とする精神科医の青木豊氏や歯科法医学者の岩原香織氏による教育講演、作曲家の山本和智氏を招いた特別公演、ポスター発表などを行う予定です。子育て支援に活かすタッチングのワークショップ、子どもの権利に関するイラスト展示も企画中です。

※16 日昼に理事会, 17 日昼に総会を行います。

大会概要については、下記 URL にて随時更新していきますので、こちらもぜひご覧ください。

< 第 34 回大会ホームページ > <https://seishin34th.jimdo.com/>

平成 30 年 新理事・常任理事一覧

● 理事長	影山 隆之	(50 音順)		
● 副理事長	加藤 純	元永 拓郎		
● 事務局長	中野 良吾			
● 常任理事	阿部 裕	大西 守	岡本 淳子	加藤 純
	上別府 圭子	菅野 恵	喜多 祐荘	小泉 典章
	酒井 佳永	津川 律子	中野 良吾	早川 東作
	福島 眞澄	馬淵 麻由子	元永 拓郎	
● 理事	阿部 裕	安保 寛明	上田 紀行	浮田 徹嗣
	牛島 定信	榎本 稔	鉅鹿 健吉	大島 巖
	大辻 隆夫	大西 守	岡本 淳子	影山 隆之
	加藤 純	狩野 武道	上別府 圭子	河野 由理
	菅野 恵	喜多 祐荘	倉島 徹	黒岩 誠
	小泉 典章	児玉 隆治	酒井 佳永	坂本 真士
	作田 勉	重村 朋子	清水 安夫	神 仁
	杉田 義郎	高塚 雄介	武井 麻子	津川 律子
	傳田 健三	富田 富士也	中野 明德	中野 良吾
	服部 希恵	早川 東作	廣 尚典	福島 裕人
	福島 眞澄	馬淵 麻由	水野 淳一郎	元永 拓郎
	湯淺 和彦	吉岡 伸一	吉田 香織	
● 幹事	荻野 ゆう子	斎藤 高雅		
● 編集委員	酒井 佳永 (編集長)			
	影山 隆之	加藤 純	狩野 武道	菅野 恵
	佐藤 武	佐藤 裕美	津川 律子	楨野 葉月
	馬淵 麻由子	元永 拓郎		



事務局からのお知らせ

学会事務局は引き続きメンタルヘルス・ビューローに引き受けていただくことになりました。

事務局 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-23スカイエスタ507
TEL/FAX 03-6457-3921 E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
ホームページ <http://www.seishineisei.gr.jp/>